



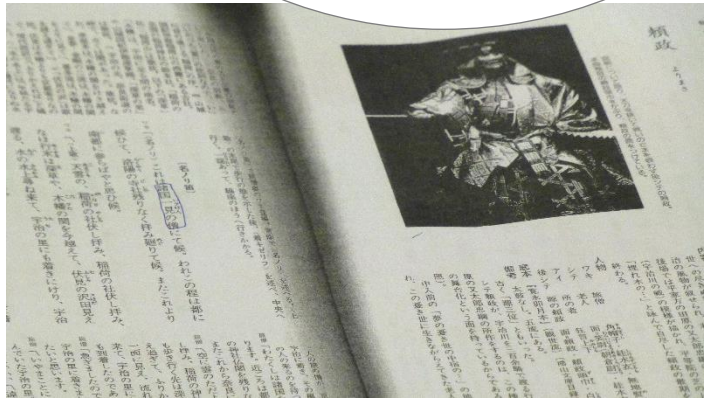
11月24日（金）、教育交流提携校である専修大学の「上級学校訪問」が生田キャンパスにて行われた。大学における学習方法（主体的な学び）や高校までの“教科学習”とは異なる“学問”の一端に触れる機会として大学教授によるゼミナールに、本校生徒の希望者30名が参加させていただいた。ゼミナールは、教授の指導のもと少人数で専門領域に関するテーマ・課題について深く研究を進め、調査・発表・討論・レポート作成等を通じ専門的知識の修得や創造性を養う大学の魅力ある授業形態の一つである。大学生に混ざり実際のゼミナールに参加した生徒たちは、刺激を受け大学での学びに期待を膨らませていた。また、現役大学生との交流も図ることができ、充実した体験ができた様子であった。

Urawagakuin
High School
Official Homepage
Topics

2017.12.1 * vol. 68

Topics 専修大学 上級学校訪問
～大学のゼミ体験等～

編集：広報・企画局





教授4名のゼミナールに分かれて参加

- ① 経済学部 内山ゼミナール (内山哲朗 経済学部長)
「社会的な経済・企業・労働の研究 <自分の目で社会・経済の動向を読む>」
- ② 経済学部 吉田ゼミナール (吉田雅明 教授)
「進化経済学 新しい経済学をつくる」
- ③ 文学部 出岡ゼミナール (出岡 宏 教授)
「日本の芸能や文学を通して<人間とは何か>を考える。」
- ④ 文学部 金子ゼミナール (金子洋之 副学長)
「実在論と反実在論」

